

令和4年度

令和4年6月28日



遷喬小だより

6月号④

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

修学旅行 Happy Smile Revolution

~6年団のみんなと一生に残る最高の memories~

《一日目》

心配されていた雨もどこへやら、青空の下、元気よく出発式を行い、いざ瀬戸内海へ。

サイクリストの聖地しまなみ海道で尾道の町並みや因島大島の吊り橋、村上水軍の拠点、瀬戸内海の景色、造船所等、バスガイドさんの説明にしっかり反応しながら、最初の目的地

「耕三寺・未来心の丘」に到着。生口島は「平山郁夫美術館」が昔から有名なのですが、子どもたちは最近、インスタ映えスポットとして人気の未来心の丘を見学場所に決めました。蓮の葉シャワーで癒やされ、洞窟を通り抜けると、白い大理石の庭園が広がっていま



した。すでに太陽が燦々と照りつけるなか、グループ毎に写真を撮り合っていました。

続いて小高い丘にすっと立ち、ヨーロッパのお屋敷のような「タオル美術館」を訪れました。今治がなぜ日本一のタオル作りの聖地として発展してきたのか。それは、今治には市内を流れる川の伏流水や霊峰石鎚山より流れ出た地下水など、極めて不純物の少ない硬度成分の低い、タオル作りに適した良質な軟水が豊富にあるからだそうです。

昼食を済ませると、最初に原料の綿がタオルになるまでの製造工程を順に見ることができました。カラフルに染められた細い糸が機械を通り抜けると複雑な模様を描くタオルになっ

ていきました。また、タオルの中に描かれた作品や、タオルでできた立体のオブジェなどのムーミン谷やディズニーワールドなど見応えのあるアート作品が展示され、子どもたちの歓声が響いていました。お土産を買った子どもたちも多くいました。

「松山城」は、市の中心部、標高132mの勝山に1602年から四半世紀もの歳月をかけ築られました。

「現存十二天守」の一つです。ロープウェイを利用し8合目まで移動し



集合写真。お殿様気分を味わうため、猛暑の中最上階を目指しました。壮大な石垣に圧倒されつつ、城の中へ。急な階段を登り切った最上階標高161mからの眺めは絶景でした。

宿泊先である「道後温泉にぎたつ会館」の方に気持ちのよい挨拶をした後は、ハイカラ通りへと。



17時の坊っちゃんカラクリ時

計のちょっとした待ち時間に、地元高校生から四国総体2022のPRうちわをいただきました。地元テレビ局の取材もあり、遷喬小の児童も映ったのではないのでしょうか。



ちょうど17時。道後温泉らしい音楽とともにせり上がった小説「坊っちゃん」の登場キャラクターが歓迎してくれました。そして、いよいよお買い物。友達と楽しくお土産探し。あっという間のひとときでした。

宿舎に戻ると美味しい晩ご飯をおなかいっぱいいただきました。5年生で宿泊体験できなかった6年生。みんなで泊まる宿舎のひとときは格別でした。